

## ホープツーリズム拡大推進事業（サイクルを活用した誘客促進） 公募型プロポーザル募集要領

### 1 事業概要

福島県浜通り地域等は、東日本大震災とその後の原発事故からの復興の光と影を首都圏から最も近くで体感できる場所であり、また、当地域は世界で類を見ない複合災害を経験した唯一の場所で、沿岸部を中心としたインフラ整備の進展とともに、その複合災害から復興に向け挑戦をし続ける多くの人々がいる場所でもある。

一方、旅行スタイルのニーズは、コロナ禍によるライフスタイルの変化や脱炭素化への要請の下、自転車活用の有効性は、環境・健康・まちづくりといった様々な分野で益々注目を浴びており、インバウンドを中心とした誘客に欠かせないツールとして、まさに浜通り地域のおかれた実情にマッチし、実誘客の創出や地域経済の活性化に係る強力な切り札となりうるものである。

これらを背景として、本県では、浜通り等への誘客促進の取組として、官民約50団体で構成する「ふくしま浜通りサイクルルート推進協議会」（以下「推進協議会」という。）を設置し、ナショナルサイクルルートの指定も視野に入れ、走行環境や受入環境等の整備を重点的に進めてきたところであり、今後、推進協議会が主体となる持続可能なサイクルツーリズムの推進を図りながら、本県が世界に誇るサイクリングルートの魅力を国内外に発信することにより、サイクリストの誘客を促進し、交流人口の拡大を図ることを目的とする。

### 2 事業内容

#### (1) 対象事業

ホープツーリズム拡大推進事業（サイクルを活用した誘客促進）

#### (2) 業務内容

別紙「ホープツーリズム拡大推進事業（サイクルを活用した誘客促進）業務委託仕様書」（以下、「仕様書」という。）のとおり

#### (3) 委託業務期間

委託契約締結の日から令和8年3月19日（木）までの期間

#### (4) 委託費の上限

45,000,000円（消費税及び地方消費税込み）

※なお、本事業は福島県議会による令和7年度予算の議決を前提としていることから、予算が議決されない場合はいかなる効力も発生しない。

### 3 プロポーザルに係る事項

#### (1) プロポーザル参加の要件

本プロポーザルに参加できる者は、次に掲げている条件を全て満たしている者とします。

ア 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しないこと。

イ 募集要領を公示した日から契約締結日までの期間において、本県及び国の機関等における入札参加資格制限措置要綱の規定に基づく入札参加制限中の者でないこと。

ウ 会社更生法（平成14年法律第154号）の規定による更生手続開始の申立てをした者若しくはなされた者（同法第41条第1項に規定する更生手続開始の決定を受けた者を除く。）又は民事再生法（平成11年法律第225号）の規定による再生手続開始の申

立てをした者若しくはなされた者（同法第33条第1項に規定する再生手続き開始の決定を受けた者を除く。）でないこと。

エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）に該当しないほか、次に掲げる者でないこと。

（ア）役員等（提出者が個人である場合にはその者その他経営に実質的に関与している者を、乙が法人である場合にはその役員、その支店又は常時契約を締結する事務所の代表者その他経営に実質的に関与している者をいう。以下この号において同じ。）が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下この条において「暴力団」という。）又は同条第6号に規定する暴力団員（以下この条において「暴力団員」という。）。

（イ）役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしている者。

（ウ）役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している者。

（エ）役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしている者。

（オ）役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者。

オ 県税を滞納している者でないこと。

カ 消費税または地方消費税を滞納している者でないこと。

キ 本公告に示した業務に技術上類似する業務を実施した実績があり、かつ、業務を確実に履行できる者であること。

## （2）募集要領等の入手方法

募集要領及び企画提案書様式等については、福島県観光交流局観光交流課（以下、「観光交流課」という。）のホームページからダウンロードして入手してください。

なお、観光交流課の窓口又は郵送等での配付は行いません。

## 4 スケジュール

項目	日程
公募開始	令和7年3月17日（月）
事業者説明開催（オンライン）	令和7年3月19日（水）15：00～
質問書の提出	令和7年3月19日（水）17時まで
質問の回答	令和7年3月21日（金）正午ごろ
プロポーザル参加表明書提出	令和7年3月21日（金）17時まで
企画提案書提出	令和7年3月26日（水）17時まで
審査	令和7年3月28日（金）
審査結果通知	令和7年3月31日（月）予定

## 5 説明会の開催

本事業に関する説明会を開催しますので、参加を希望する場合は、説明会参加申込書（第

1号様式) を令和7年3月19日(水)正午までに、電子メール、FAX、郵送又は持参により提出してください。

(1) 開催日時 令和7年3月19日(水) 15時~16時(予定)

(2) 開催場所 オンライン(ZOOM)

※URLは参加希望した方のみ別途メールにてお送りします。

(3) その他 説明会参加がプロポーザル参加の要件となりますので、ご注意ください。

## 6 質問等の受付

質問については、以下により受け付けます。

(1) 受付期限

令和7年3月19日(水) 17時まで(必着)

(2) 提出方法

質問書(第1号様式)により、「11 問合せ先及び各種書類の提出先」まで、電子メール又はFAXにより提出してください。件名は「【質問】ホープツーリズム拡大推進事業(サイクルを活用した誘客促進)」とし、電子メール、FAXとも電話にて送付した旨お知らせください。なお、電話による質問の受付は行いません。

○観光交流課メールアドレス: [tourism@pref.fukushima.lg.jp](mailto:tourism@pref.fukushima.lg.jp)

(3) 回答

質問に対する回答は、競争上の地位その他正当な利害を害するおそれのあるものを除き、令和7年3月21日(金)正午ごろ、観光交流課のホームページで公表します。(個別の回答は行いません。)

## 7 参加表明書の提出

公募型プロポーザルに参加する意思のある者は、「ホープツーリズム拡大推進事業(サイクルを活用した誘客促進) 公募型プロポーザル参加表明書」(第2号様式)を提出期限までに「11 問合せ先及び各種書類の提出先」まで提出してください。なお、この提出がない者の企画提案は受け付けません。

受領後、参加資格不備がない場合は参加表明書に記載の電子メールの宛先へ確認結果を通知いたします。

(1) 提出期限 令和7年3月21日(金) 17時まで(必着)

(2) 提出方法 参加表明書(第2号様式)を電子メール又はFAXにより提出してください。

件名は「ホープツーリズム拡大推進事業(サイクルを活用した誘客促進) 公募型プロポーザル参加表明書」とし、電子メール又はFAX送付後、電話にて送付した旨お知らせください。

## 8 企画提案書等の提出

公募型プロポーザルに参加する意思のある者は、「6 参加表明書の提出」による手続を行った上で、企画提案書等を提出期限までに「11 問合せ先及び各種書類の提出先」まで郵送又は持参により提出してください。

(1) 提出期限 令和7年3月26日(水) 17時まで(提出期限時間内必着とする)

(2) 提出方法 郵送又は持参

(3) 企画提案書等

- ① 企画提案書及び工程表（表紙を除き30ページ以内。様式任意。但し、日本工業規格A4版とする。）
  - ② 事業経費積算書（様式任意。但し、日本工業規格A4版）
  - ③ その他企画提案を説明するのに必要な書類
  - ④ 会社概要（第3号様式）と直近2年分の決算書又は事業報告書（収支状況がわかるもの）
  - ⑤ 業務実施体制書（第4号様式）
  - ⑥ 定款又は寄付行為の写し（法人格を有しない場合は、団体規約の写し等運営規約に相当するもの。）
  - ⑦ 法人登記簿の写し（申請受付日の3ヶ月以内のもの）
    - ※ 法人格を有しない場合は、名称、所在地、資産の総額、代表者の氏名及び住所を記載した書類。
  - ⑧ 暴力団等反社会的勢力でないことの表明・確約に関する同意書（第5号様式）
- (4) 提出部数
- ①～⑤・・・10部（正本1部、副本9部）、⑥～⑧・・・1部（正本1部）

## 9 企画提案書の内容

企画提案書には別紙「仕様書」に基づき、次の事項に注意して作成してください。

- (1) 本事業仕様書中、委託業務内容に記載している各業務が、円滑に着実に遂行できる具体的な提案を行ってください。
- (2) 仕様書に記載されている各業務の実施方法について具体的に提案してください。また、各業務をどのように連携して実施するかについて具体的に提案してください。
- (3) 地産地消の観点から、地域に貢献する取り組みを含めて提案してください。

## 10 企画提案書等の提出に際しての留意事項

- (1) 企画提案書の失格
  - 以下のいずれかの事項に該当する場合は、失格となります。
  - ア 募集要項等で示す条件に違反した企画提案書
  - イ 虚偽の内容が記載されている企画提案書
  - ウ 審査委員会の委員又は関係者に企画提案書に対する援助を直接的又は間接的に求めた者が提出した企画提案書
  - エ 参加表明書の提出期限から当該業務の契約締結日までの期間内に、提案者（役員）が刑法に定める容疑により逮捕又は起訴された場合
  - オ 本募集要領に違反すると認められる場合
  - カ その他、福島県が予め指示した事項に違反した場合
- (2) 複数提案の禁止
  - プロポーザル参加者は、複数の企画提案書の提出を行うことは出来ません。
- (3) 辞退
  - 参加表明書を提出した後に辞退する際には、辞退届（任意様式）を提出してください。
- (4) 費用負担
  - プロポーザルに要する経費等は、参加者の負担とします。
- (5) その他
  - ア 参加者は、参加表明書の提出をもって、本募集要領の記載内容を承諾したものとみな

- します。
- イ 提案の実現可能性を検討するため、必要に応じて提案者に対し、任意で追加資料の提出を求めることがあります。
- ウ 提出された企画提案書等は、返却しません。
- エ 提出された企画提案書等は、福島県情報公開条例（平成12年条例第5号）に基づく情報公開請求の対象となります。

## 11 プロポーザルの審査に関する事項

### (1) 審査方法

プロポーザル参加者の提案を受け、福島県はこれを総合的に評価し、契約候補者（単独随意契約候補者）を選定します。（審査基準は下記参照）

なお、プロポーザル参加者が1者の場合、総得点率が6割以上であることを業務委託者選定の条件とします。

また、総得点が同点となった場合、審査委員会による協議の上、業務委託予定者を決定します。

### (2) 審査会（プレゼンテーション）

企画提案書について企画提案者からのプレゼンテーション形式にて審査を行います。審査で選定された者を契約候補者とし、契約締結の手続きを行います。

#### ア 開催日及び開催方法

令和7年3月28日（金）福島県庁西庁舎12階 商工総務分室（予定）

※詳細は別途通知します。

#### イ 審査視点プロポーザルの所要時間（予定）

ホープツーリズム拡大推進事業（サイクルを活用した誘客促進）

説明20分 質疑15分

#### ウ 審査基準

下記審査基準に基づき総合的に審査します。

#### 【審査基準】

審査項目		評価の視点	配点
業務遂行能力			
	業務体制	・業務を実施する上で十分な体制であるか。	10
	スケジュール	・業務を円滑に実施できる計画であるか。 ・進行管理体制は適切か。	10
	業務実績	・本業務と類似の業務の受注実績があるか。	5
企画提案内容			
	企画提案 (全体事業調整)	・本業務の趣旨を十分理解し、浜通りへの誘客を図る業務内容となっているか。	5

		・業務実施に必要な実施体制を整え、業務遂行にあたり実行性が期待できる提案内容となっているか。	5
	企画提案 (効果性)	・市町村や地域事業者との連携を図り、地域の意識醸成を図る内容となっているか。	5
	企画提案 (サイクリスト 受入環境整備)	・協議会の運営支援について、協議会が主体となる持続可能なサイクルツーリズムの推進に向けた具体的な運営の方向性が提案されているか。	10
		・アドバイザー運用管理、サイクリスト対応施設の整備について、内容を理解した実施提案となっているか。	5
		・サイクルガイド育成について、講習会内容、参加者の活用機会について、具体的な提案がされているか。	5
	企画提案 (誘客促進)	・アンバサダー運用について、ルートの魅力を実効果的に発信できる企画、実誘客につながるファンツアーの提案がなされているか。	5
		・モニターツアーについて、行程や内容は地域の機運醸成を図る内容が提案されているか。	10
	企画提案 (情報発信)	・常磐線浜通りサイクルトレイン運行プロモーションについて、効果的なプロモーションが提案されているか。	5
		・サイクル関係者等への効果的な情報発信について、具体的に提案されているか。	10

	業務経費 (全体)	・仕様書に記載されていない活用可能な独自提案があるか。	5
	企画提案 (独創性)	・業務経費は適正であるか。	5

#### 【業務委託予定者の選定】

- ・各審査委員が評価点の合計得点を算出します。
  - ・審査票の合計得点により、審査委員ごとに事業者の順位を決定します。
  - ・各審査委員の順位の平均が最も上位の者を業務委託予定者（単独随意契約の予定者）とします。
- なお、プロポーザル参加者が1者の場合、全審査委員の合計得点の平均が6割以上であることを条件とします。

#### (3) 審査結果通知等

##### ア 審査結果

審査の結果は、プロポーザル参加者全員に通知します。

##### イ 審査結果に関する開示請求

選定されなかった者は、その通知の日の翌日から起算して2週間以内に、書面により選定されなかった理由の説明を書面により求めることができます。また、その回答は、書面が到達した日から起算して10日以内に行います。

なお、説明請求に対する回答の内容は「請求者及び最優秀者の企業名とそれぞれの審査時の総得点」を公表するものとします。

#### (4) 契約の締結等

##### ア 仕様書の協議等

選定した契約候補者と県が協議し、委託契約に係る仕様を確定した上で契約を締結します。

仕様書の内容は契約候補者が提案した内容を基本としますが、提案内容のとおりには反映されない場合もあります。

また、契約後に企画提案書に基づく履行ができなかった場合において、再度の履行が困難又は合理的でないときは、契約金額の減額、損害賠償の請求、契約の解除、違約金の請求の対象となります。

##### イ 契約金額の決定

契約金額は協議結果に基づき仕様書を作成し、これに基づき改めて見積書を徴取し決定します。

##### ウ その他

契約候補者と県との間で行う協議が整わない場合、又は契約候補者が契約を辞退した場合は、審査結果において総合評価が次点であった応募者と協議します。

なお、本事業は観光庁補助金を活用して実施します。契約等の手続きは、補助金の交

付決定後に実施します。補助金が交付されない場合は事業の内容を見直す場合があります。

また、本事業は、福島県議会による令和7年度予算の議決を前提としていることから、予算が議決されない場合には、契約を見直す場合があります。

## 12 問合せ先及び各種書類の提出先

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号（福島県庁西庁舎11階）

福島県 観光交流局 観光交流課（担当：平野涼子）

電話：024-521-8734 FAX：024-521-7888

E-mail：tourism@pref.fukushima.lg.jp